



JSPPO
Japan Sport Association

Press Release

2026年4月15日



国民スポーツ大会 第86回(2032年)～第89回(2035年) 大会における実施競技の決定

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPPO(正式名称:公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 遠藤利明)は、国民スポーツ大会(旧:国民体育大会)における第86回(2032年)～第89回大会(2035年)に実施する正式競技および公開競技を下記の通り決定しました。

○正式競技 計42競技

(本大会:37競技、冬季大会:3競技、国スポ改革先行導入大会:2競技)

本大会:

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウェイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレ射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

冬季大会:

スキー、スケート、アイスホッケー

国スポ改革先行導入大会:

フェンシング、ダンススポーツ

○公開競技 計9競技

綱引、少林寺拳法、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、バウンドテニス、エアロビック、スポーツチャンバラ、ペタンク・ブール

■国スポ改革先行導入大会について

趣旨:

今回対象となる第 86 回大会から第 89 回大会は、いわゆる 2 巡目最後の 4 大会であり、2036 年以降に予定される新たな国スポの在り方への移行を見据えた重要な期間である。

このため、有識者会議の提言およびタスクフォースにおける議論を踏まえ、新たな国スポの考え方や実施方法について、その実現可能性を見極め将来の大会改革につなげる観点から、「改革先行導入大会」を開催する。

※詳細は添付資料「国民スポーツ大会第 86 回(2032 年)～第 89 回(2035 年)大会における実施競技の決定」を参照ください。

【添付資料】

- ・国民スポーツ大会第 86 回(2032 年)～第 89 回(2035 年)大会における実施競技の決定
- ・第 5 期実施競技選定結果

【参考(JSPO HP 内資料)】

[今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議 提言概要](#)
[国スポ改革タスクフォースの概要](#)

◆JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会)について

JSPO は、1911 年 7 月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018 年 4 月 1 日、現在の名称となりました。

JSPO では、国民スポーツ大会(旧 国民体育大会)や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や 60 を超える競技団体、47 都道府県スポーツ協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

- ▶ ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>

- ▶ 事業概要パンフレット

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09> (通読約 15 分)

- ▶ JSPO 中期計画 2023-2027

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid149.html#01>

We support sport in Japan

JSPO OFFICIAL PARTNER

